

第5章 往診の対応・実施状況等

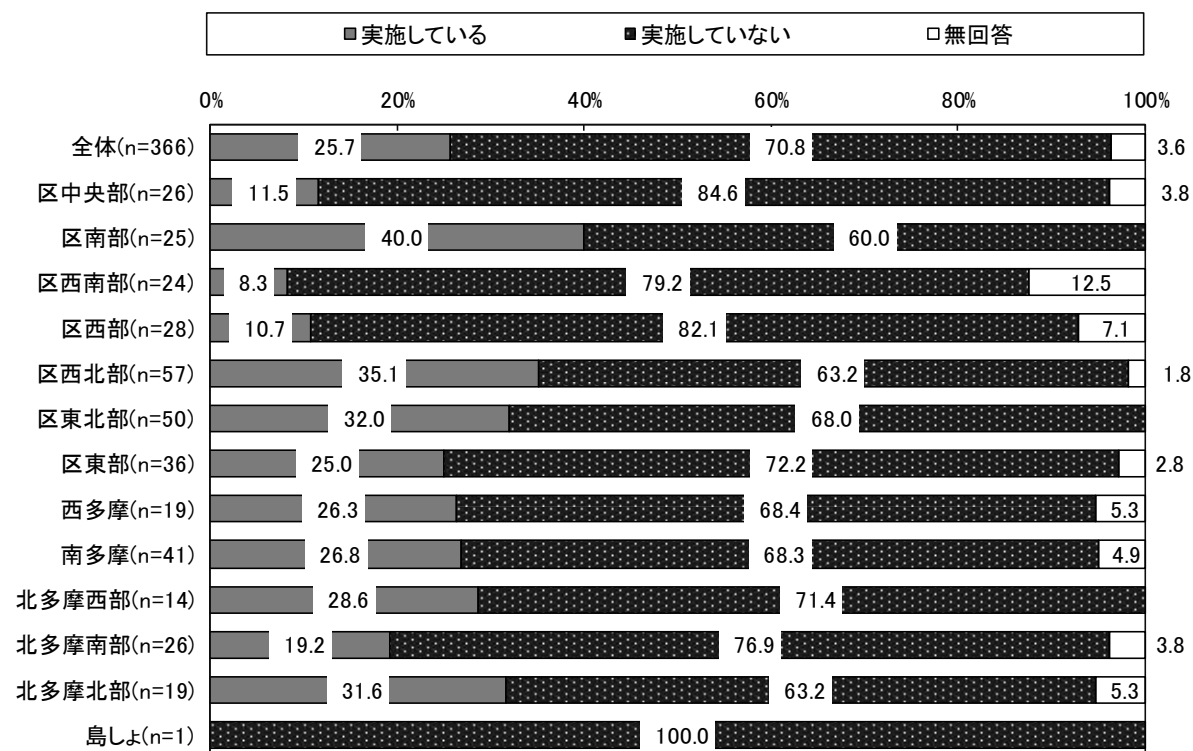
1 往診の対応・実施状況

(1) 往診の実施状況

病院では、全回答施設の25.7%が実施している。

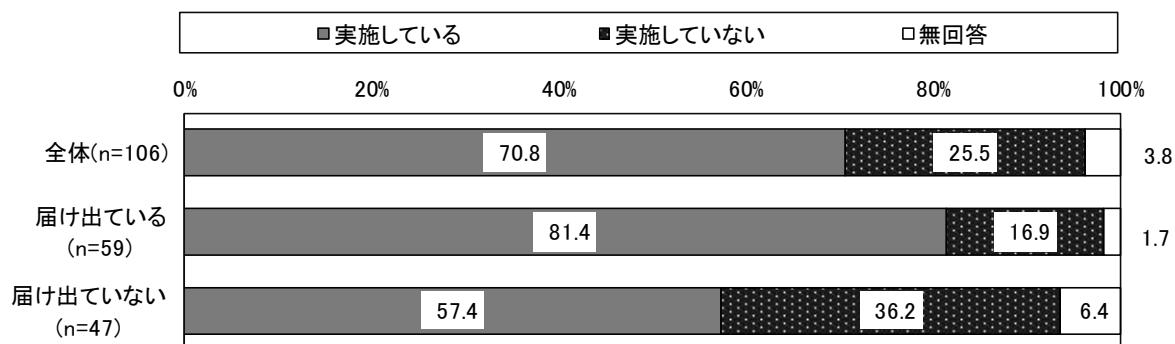
在宅療養支援病院の届出有無でみると、「届け出ている」施設では81.4%が実施しているが、「届け出していない」施設は57.4%である。訪問診療の担当医師数（常勤＋非常勤の常勤換算）でみると、1人以上医師がいる施設では、7割以上が往診を実施している。

図表 229 往診の実施状況（病院：Q29）二次医療圏別



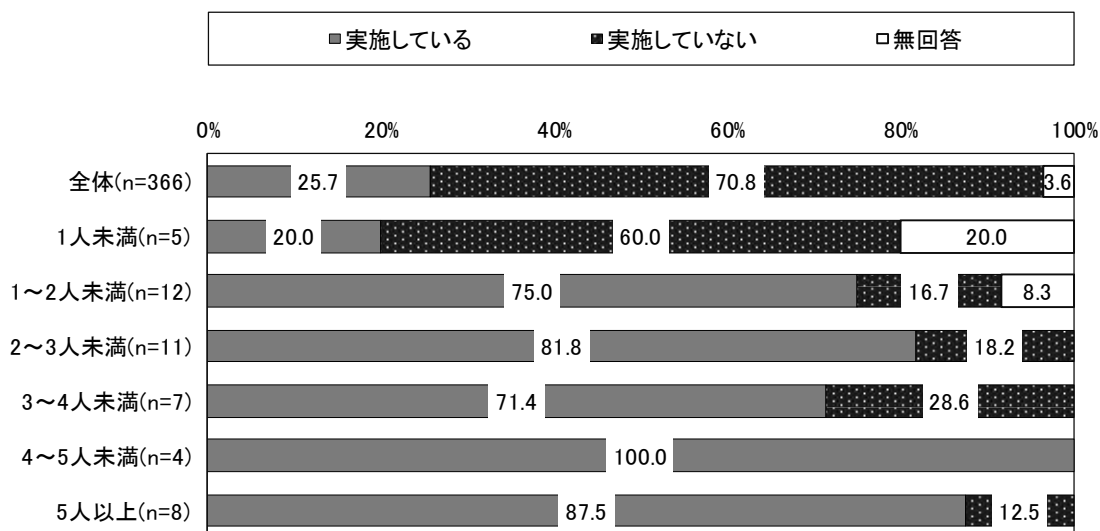
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設

図表 230 往診の実施状況（病院：Q29）在宅療養支援病院の届出別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

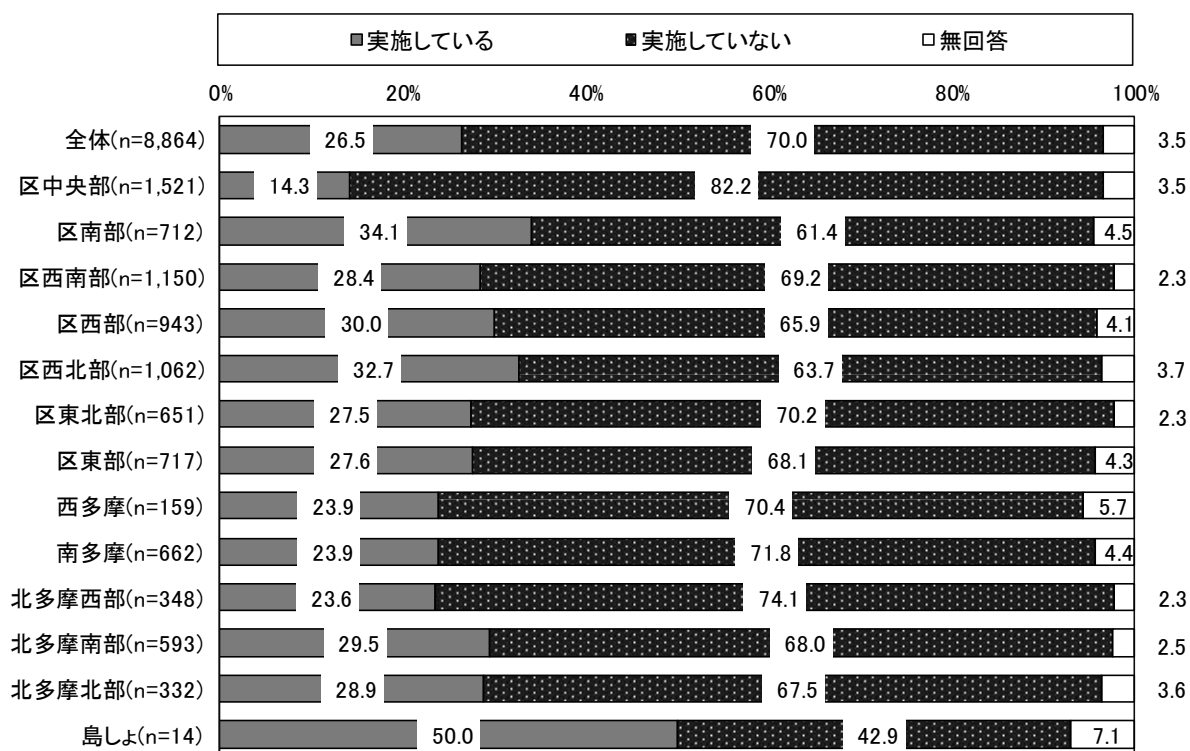
図表 231 往診の実施状況（病院：Q29）訪問診療担当医師数（常勤＋非常勤の常勤換算）別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設

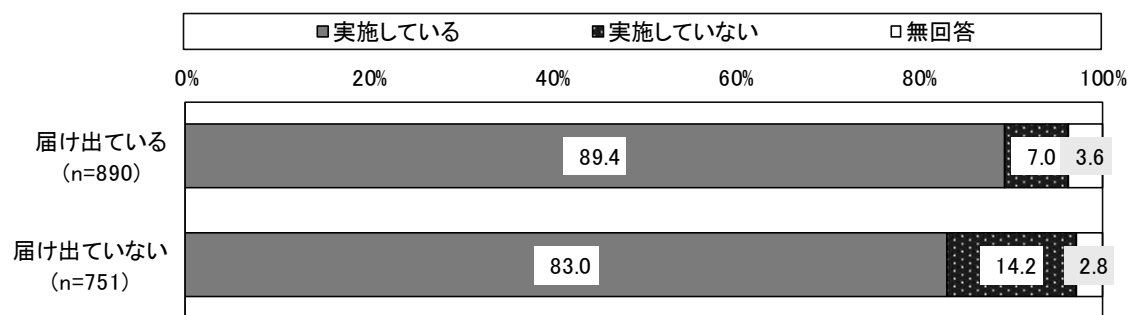
一般診療所における往診の実施状況は、26.5%である。
在宅療養支援診療所の届出有無でみると、「届け出ている」施設では 89.4%が実施しており、「届け出していない」施設でも 83.0%が実施している。

図表 232 往診の実施状況（一般診療所：Q35）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設

図表 233 往診の実施状況（一般診療所：Q35）在宅療養支援診療所の届出別



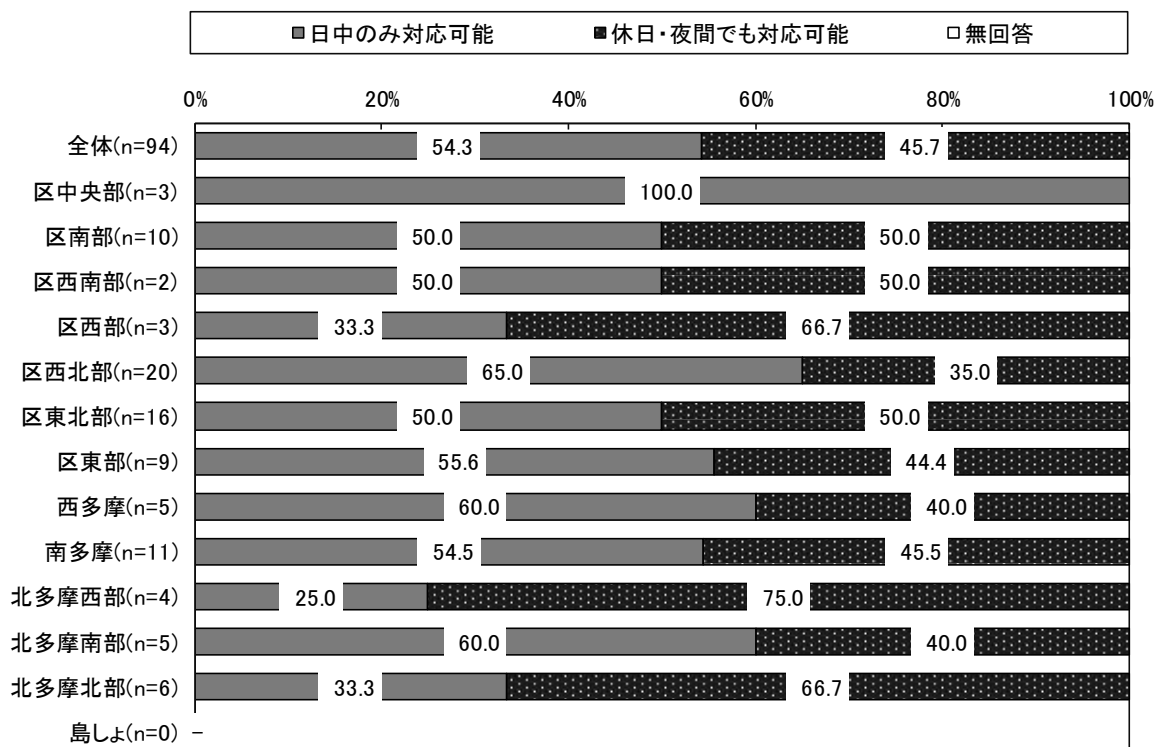
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

(2) 往診に対応できる時間帯

病院では、往診を実施している施設の半数以上の 54.3%が「日中のみ対応可能」と回答。

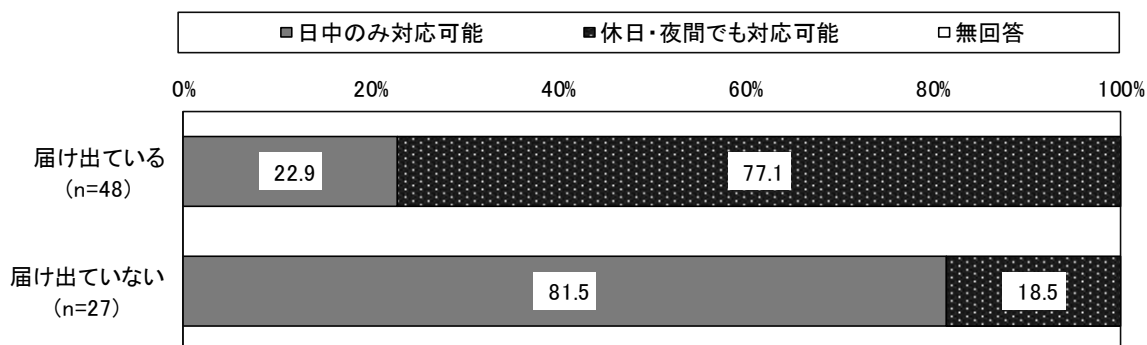
在宅療養支援病院の届出有無でみると、「届け出ている」施設は「休日・夜間でも対応可能」が 77.1%で、「届け出していない」施設は「日中のみ対応可能」が 81.5%である。訪問診療を担当している医師数（常勤＋非常勤の常勤換算）では、2人以上医師がいる施設では、「休日・夜間でも対応可能」が7割を超える。

図表 234 往診に対応できる時間帯（病院：Q30）二次医療圏別



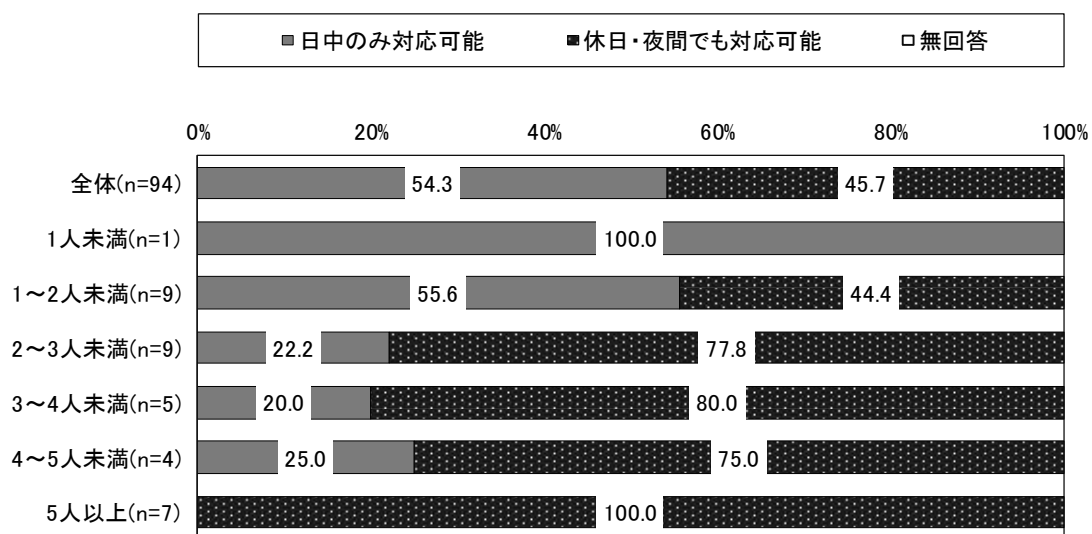
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、往診を実施している 94 施設

図表 235 往診に対応できる時間帯（病院：Q30）在宅療養支援病院の届出別



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、往診を実施している 94 施設

図表 236 往診に対応できる時間帯（病院：Q30）訪問診療担当医師数（常勤＋非常勤の常勤換算）別

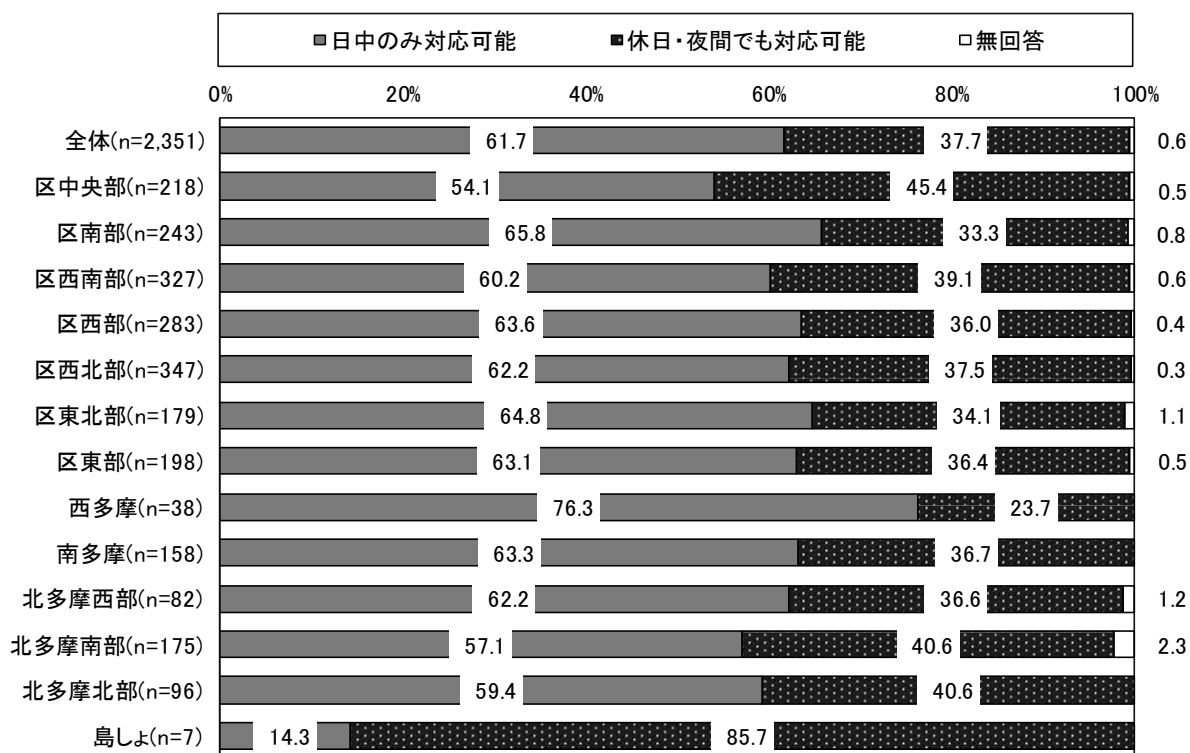


集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、往診を実施している 94 施設

一般診療所について、往診に対応できる時間帯をみると、往診を実施している施設の61.7%が「日中のみ対応可能」と回答。

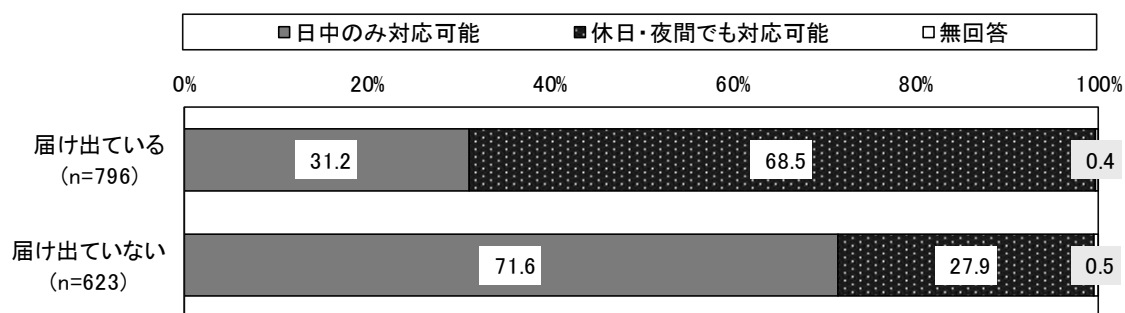
在宅療養支援診療所の届出有無でみると、「届け出ている」施設の68.5%が「休日・夜間でも対応可能」であるが、「届け出していない」施設の71.6%は「日中のみ対応可能」となっている。

図表 237 往診に対応できる時間帯（一般診療所：Q36）二次医療圏別



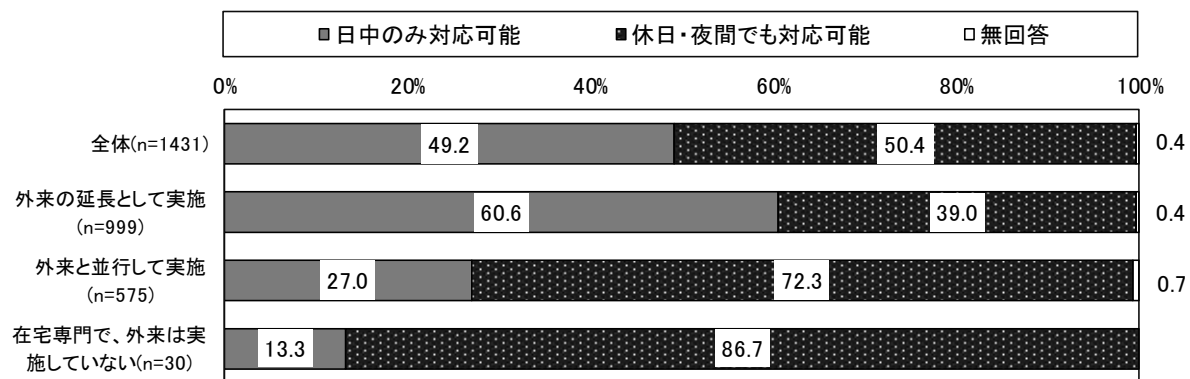
集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、往診を実施している2,351施設

図表 238 往診に対応できる時間帯（一般診療所：Q36）在宅療養支援診療所の届出別



集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、往診を実施している2,351施設

図表 239 往診に対応できる時間帯（一般診療所：Q36）訪問診療の位置付け別

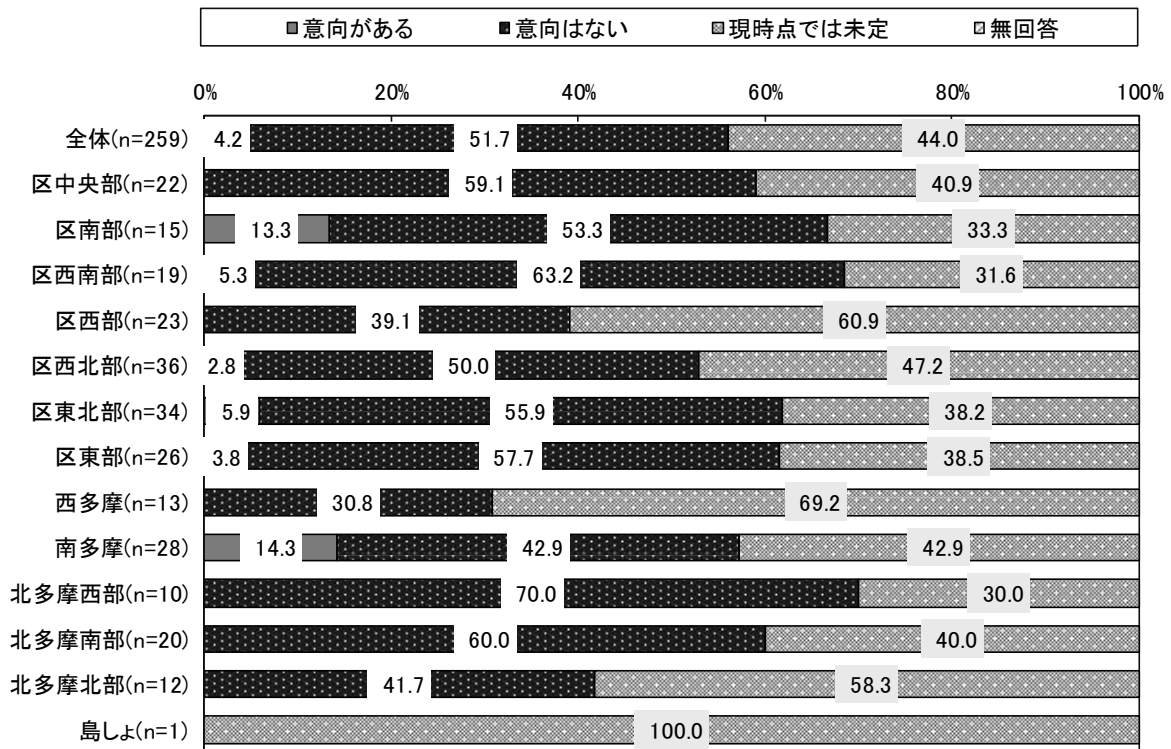


集計対象：訪問診療を実施している一般診療所全 1,660 施設のうち、往診を実施している 1,431 施設

2 今後の往診の実施意向

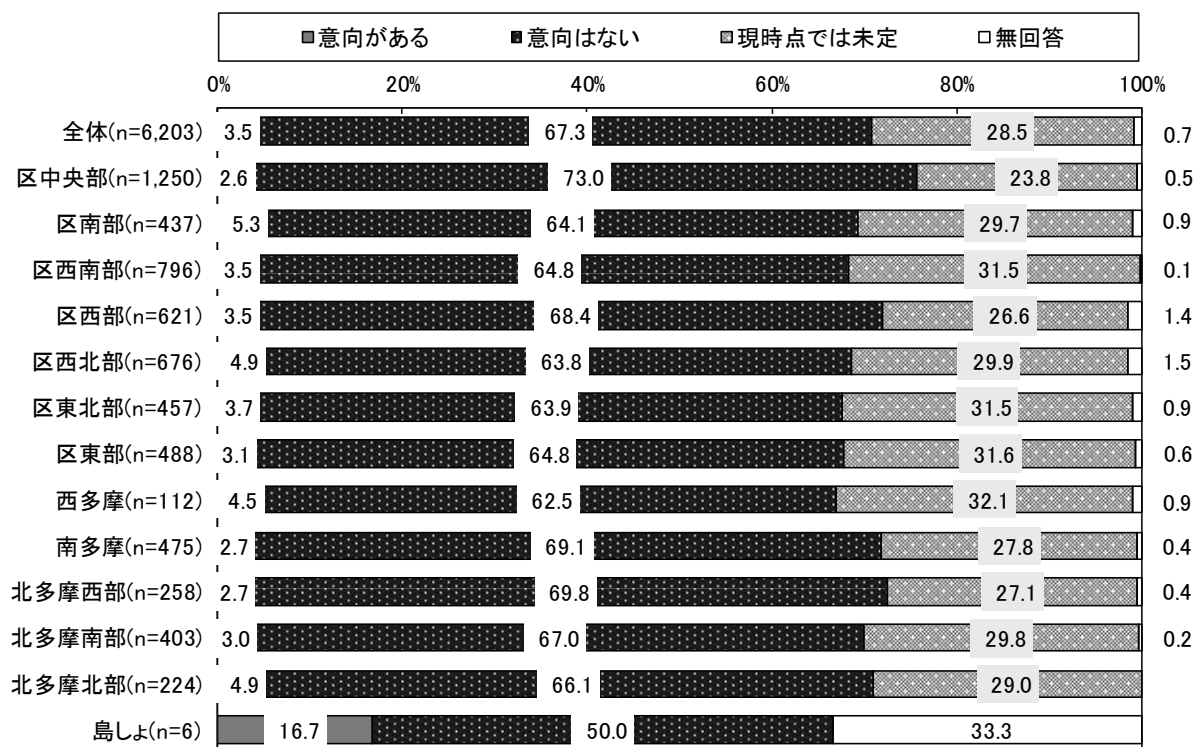
現在、往診を実施していない施設での今後の実施意向は、病院では、「意向がある」は、4.2%で、「意向はない」が51.7%と半数を占める。また、「現時点では未定」も44.0%と4割を超える。一般診療所では、「意向はない」が67.3%と多く、「意向がある」は3.5%となっている。

図表 240 今後の往診の実施意向（病院：Q31）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、往診を実施していない 259 施設

図表 241 今後の往診の実施意向（一般診療所：Q37）二次医療圏別



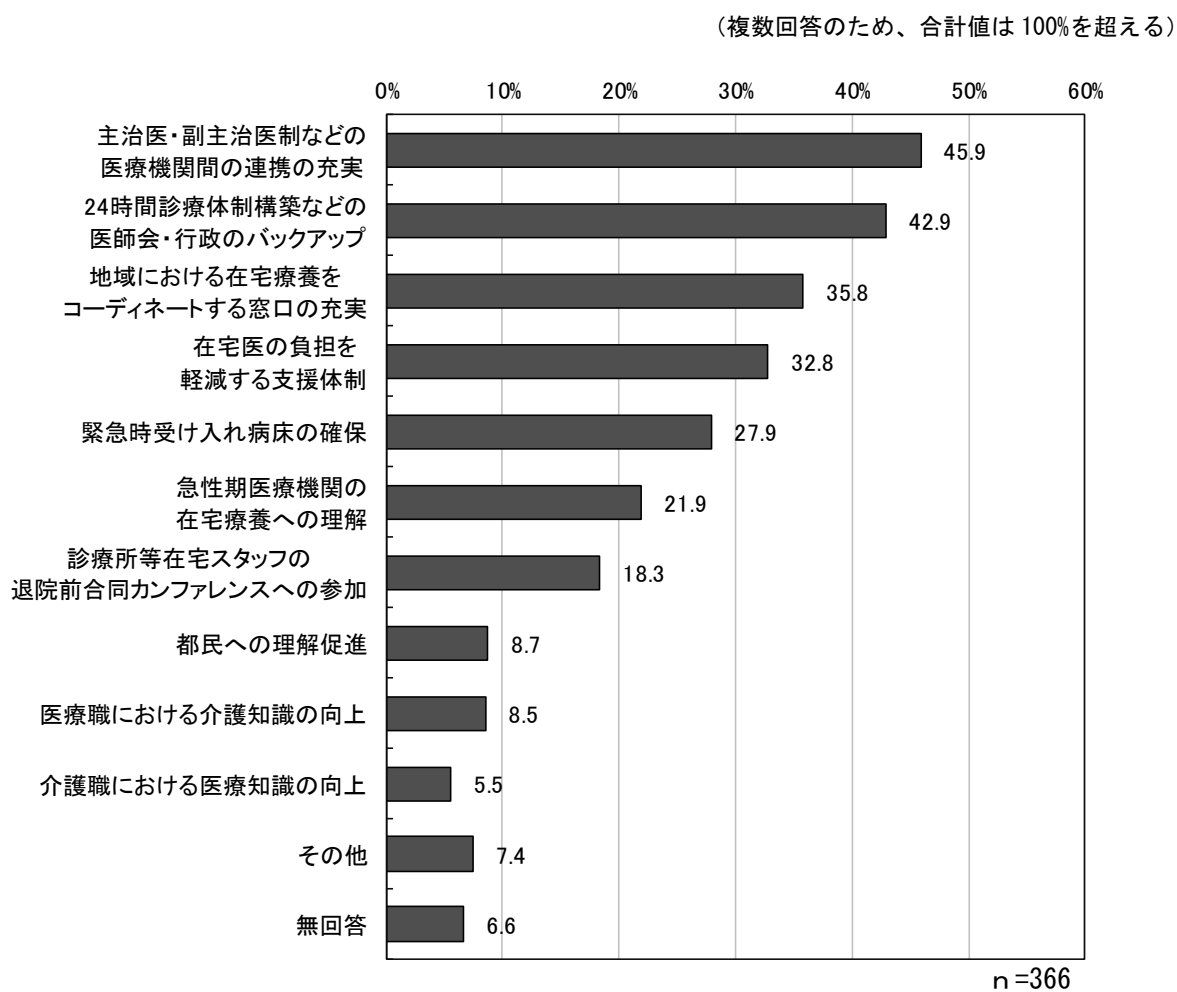
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、往診を実施していない 6,203 施設

3 地域における在宅医療の充実のために重要だと思うもの

病院（全施設）では、「主治医・副主治医制などの医療機関間の連携の充実」が45.9%と最も多く、次いで「24時間診療体制構築などの医師会・行政のバックアップ」（42.9%）、「地域における在宅療養をコーディネートする窓口の充実」（35.8%）などが続く。

現在、訪問診療を実施している一般診療所では、「緊急時受け入れ病床の確保」が51.4%と最も多く、次いで「在宅医の負担を軽減する支援体制」（40.4%）、「24時間診療体制構築などの医師会・行政のバックアップ」（40.1%）などが続く。

図表 242 地域における在宅医療を充実させるために、重要だと思うもの（上位3つまで）
（病院：Q33）



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設

図表 243 地域における在宅医療を充実させるために、重要だと思ふもの（上位3つまで）

（病院：Q33）二次医療圏別

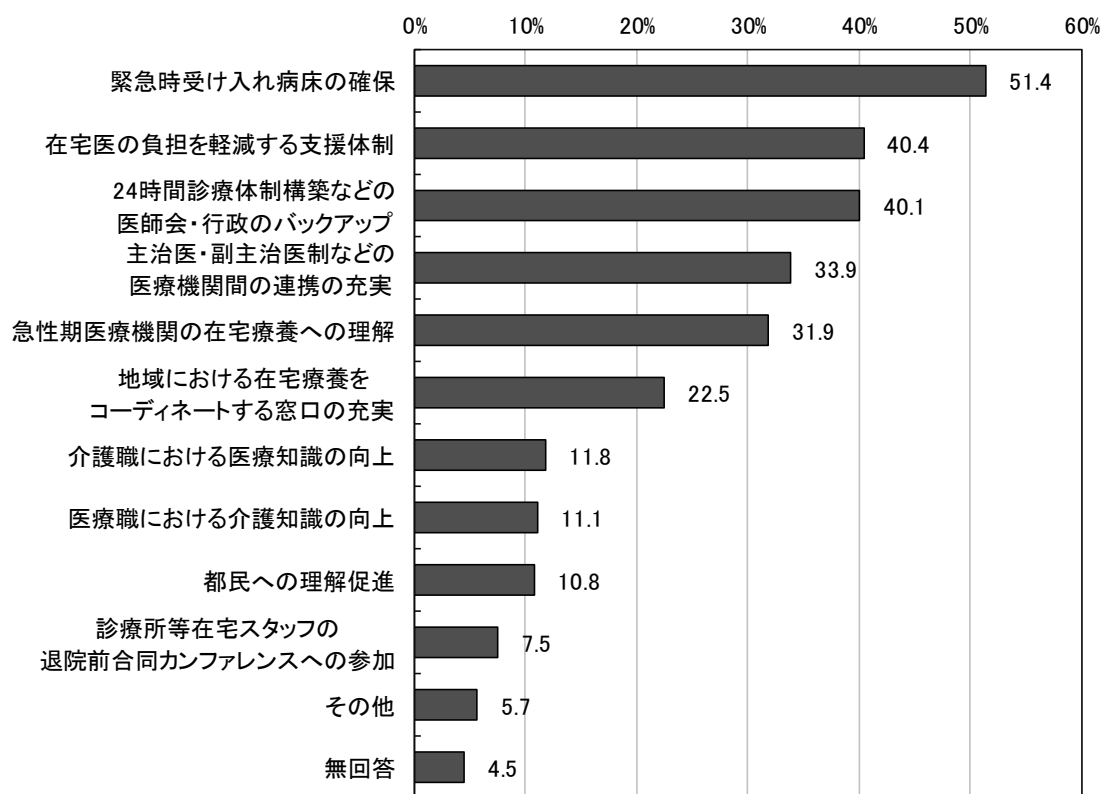
（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	366 100.0	26 100.0	25 100.0	24 100.0	28 100.0	57 100.0	50 100.0	36 100.0	19 100.0	41 100.0	14 100.0	26 100.0	19 100.0	1
主治医・副主治医制などの医療機関間の連携の充実	168 45.9	10 38.5	9 36.0	12 50.0	16 57.1	29 50.9	24 48.0	13 36.1	10 52.6	19 46.3	7 50.0	10 38.5	8 42.1	1 100.0
24時間診療体制構築などの医師会・行政のバックアップ	157 42.9	9 34.6	8 32.0	7 29.2	9 32.1	22 38.6	28 56.0	14 38.9	7 36.8	24 58.5	4 28.6	13 50.0	12 63.2	-
地域における在宅療養をコーディネートする窓口の充実	131 35.8	9 34.6	3 12.0	11 45.8	9 32.1	17 29.8	16 32.0	15 41.7	10 52.6	22 53.7	3 21.4	9 34.6	7 36.8	-
在宅医の負担を軽減する支援体制	120 32.8	6 23.1	11 44.0	6 25.0	10 35.7	17 29.8	19 38.0	10 27.8	7 36.8	13 31.7	5 35.7	13 50.0	3 15.8	-
緊急時受け入れ病床の確保	102 27.9	9 34.6	6 24.0	5 20.8	4 14.3	18 31.6	13 26.0	9 25.0	5 26.3	14 34.1	3 21.4	8 30.8	8 42.1	-
急性期医療機関の在宅療養への理解	80 21.9	9 34.6	9 36.0	5 20.8	10 35.7	14 24.6	8 16.0	6 16.7	2 10.5	5 12.2	4 28.6	4 15.4	3 15.8	1 100.0
診療所等在宅スタッフの退院前合同カンファレンスへの参加	67 18.3	9 34.6	8 32.0	3 12.5	4 14.3	17 29.8	7 14.0	5 13.9	2 10.5	3 7.3	2 14.3	3 11.5	3 15.8	1 100.0
都民への理解促進	32 8.7	2 7.7	3 12.0	2 8.3	5 17.9	1 1.8	4 8.0	5 13.9	-	2 4.9	-	5 19.2	3 15.8	-
医療職における介護知識の向上	31 8.5	3 11.5	2 8.0	1 4.2	4 14.3	3 5.3	7 14.0	3 8.3	1 5.3	3 7.3	-	3 11.5	1 5.3	-
介護職における医療知識の向上	20 5.5	1 3.8	1 4.0	-	3 10.7	1 1.8	4 8.0	1 2.8	3 15.8	4 9.8	-	2 7.7	-	-
その他	27 7.4	1 3.8	2 8.0	4 16.7	-	4 7.0	2 4.0	3 8.3	1 5.3	3 7.3	5 35.7	-	2 10.5	-
無回答	24 6.6	1 3.8	1 4.0	3 12.5	2 7.1	4 7.0	3 6.0	3 8.3	2 10.5	2 4.9	2 14.3	-	1 5.3	-

集計対象：調査に回答した病院全 366 施設

図表 244 地域における在宅医療を充実させるために、重要だと思うもの（上位3つまで）
（一般診療所：Q29）

※訪問診療を実施している一般診療所のみ回答
（複数回答のため、合計値は100%を超える）



n=1,660

集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設

図表 245 地域における在宅医療を充実させるために、重要だと思うもの（上位3つまで）

（一般診療所：Q29）二次医療圏別

※訪問診療を実施している一般診療所のみ回答

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	1660 100.0	143 100.0	164 100.0	219 100.0	207 100.0	229 100.0	141 100.0	146 100.0	27 100.0	121 100.0	57 100.0	119 100.0	79 100.0	8 100.0
緊急時受け入れ病床の確保	854 51.4	56 39.2	72 43.9	110 50.2	111 53.6	119 52.0	91 64.5	82 56.2	16 59.3	62 51.2	34 59.6	61 51.3	40 50.6	-
在宅医の負担を軽減する支援体制	670 40.4	57 39.9	79 48.2	81 37.0	74 35.7	85 37.1	65 46.1	57 39.0	9 33.3	43 35.5	22 38.6	56 47.1	40 50.6	2 25.0
24時間診療体制構築などの医師会・行政のバックアップ	665 40.1	52 36.4	71 43.3	89 40.6	77 37.2	95 41.5	59 41.8	56 38.4	3 11.1	50 41.3	25 43.9	52 43.7	34 43.0	2 25.0
主治医・副主治医制などの医療機関間の連携の充実	563 33.9	57 39.9	48 29.3	79 36.1	74 35.7	75 32.8	44 31.2	58 39.7	7 25.9	39 32.2	18 31.6	39 32.8	25 31.6	-
急性期医療機関の在宅療養への理解	529 31.9	38 26.6	49 29.9	66 30.1	74 35.7	76 33.2	43 30.5	47 32.2	15 55.6	45 37.2	20 35.1	26 21.8	28 35.4	2 25.0
地域における在宅療養をコーディネートする窓口の充実	374 22.5	35 24.5	32 19.5	52 23.7	40 19.3	55 24.0	29 20.6	31 21.2	6 22.2	28 23.1	19 33.3	18 15.1	27 34.2	2 25.0
介護職における医療知識の向上	196 11.8	18 12.6	18 11.0	24 11.0	29 14.0	21 9.2	17 12.1	21 14.4	4 14.8	11 9.1	7 12.3	12 10.1	11 13.9	3 37.5
医療職における介護知識の向上	184 11.1	15 10.5	21 12.8	27 12.3	22 10.6	22 9.6	13 9.2	21 14.4	3 11.1	7 5.8	9 15.8	13 10.9	9 11.4	2 25.0
都民への理解促進	179 10.8	15 10.5	23 14.0	27 12.3	22 10.6	27 11.8	11 7.8	13 8.9	4 14.8	9 7.4	6 10.5	11 9.2	10 12.7	1 12.5
診療所等在宅スタッフの退院前合同カンファレンスへの参加	125 7.5	11 7.7	10 6.1	10 4.6	23 11.1	24 10.5	14 9.9	7 4.8	-	7 5.8	5 8.8	6 5.0	7 8.9	1 12.5
その他	94 5.7	14 9.8	7 4.3	17 7.8	11 5.3	10 4.4	6 4.3	4 2.7	2 7.4	6 5.0	2 3.5	10 8.4	1 1.3	4 50.0
無回答	74 4.5	8 5.6	8 4.9	6 2.7	11 5.3	11 4.8	2 1.4	4 2.7	3 11.1	13 10.7	-	4 3.4	4 5.1	-

集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

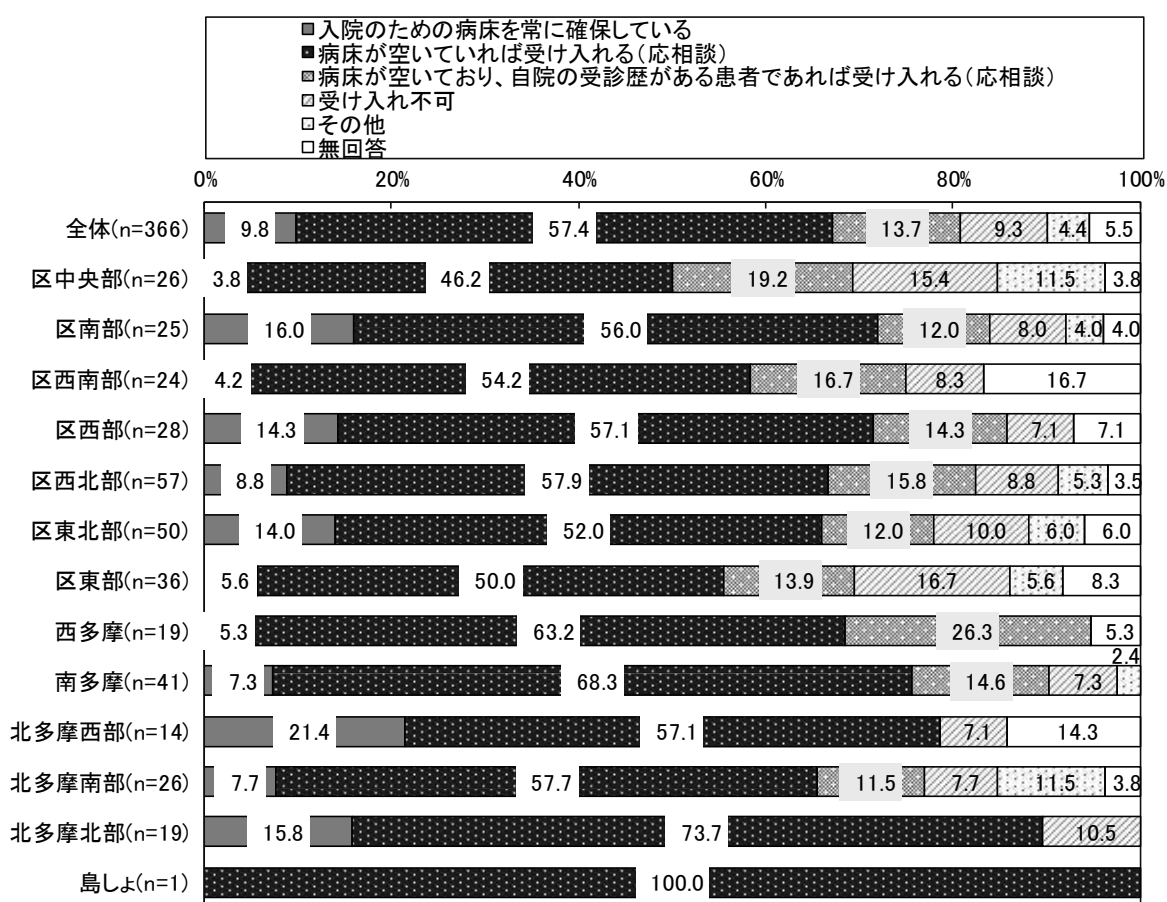
4 在宅療養患者に対する後方支援（病院）

(1) 病状変化時の対応

患者の病状変化のために「入院のための病床を常に確保している」病院は、9.8%であった。最も多いのは「病床が空いていれば受け入れる（応相談）」(57.4%)で、次いで、「病床が空いており、自院の受診歴がある患者であれば、受け入れる（応相談）」(13.7%)などが続いている。一方、「受け入れ不可」も9.3%と1割程度存在した。また、在宅療養支援病院の届出をしている施設のおよそ3割は、「入院のための病床を常に確保している」と回答。

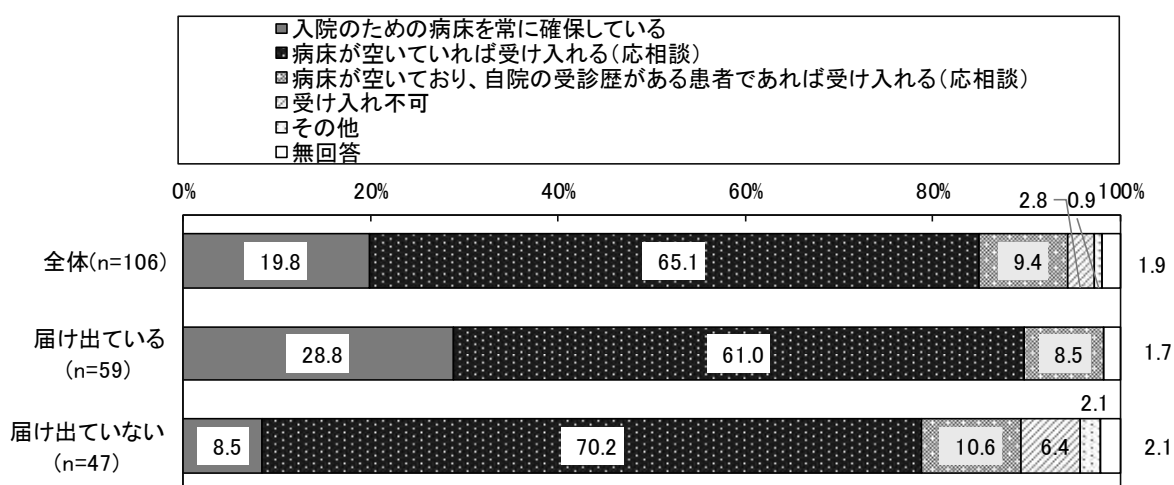
病状変化時のために常に確保している病床数は、「2床」が36.1%と最も多く、次いで「1床」(27.8%)、「3床」(19.4%)となっている。平均では、2.2床であった。

図表 246 病状変化時等の対応（病院：Q32-①）二次医療圏別



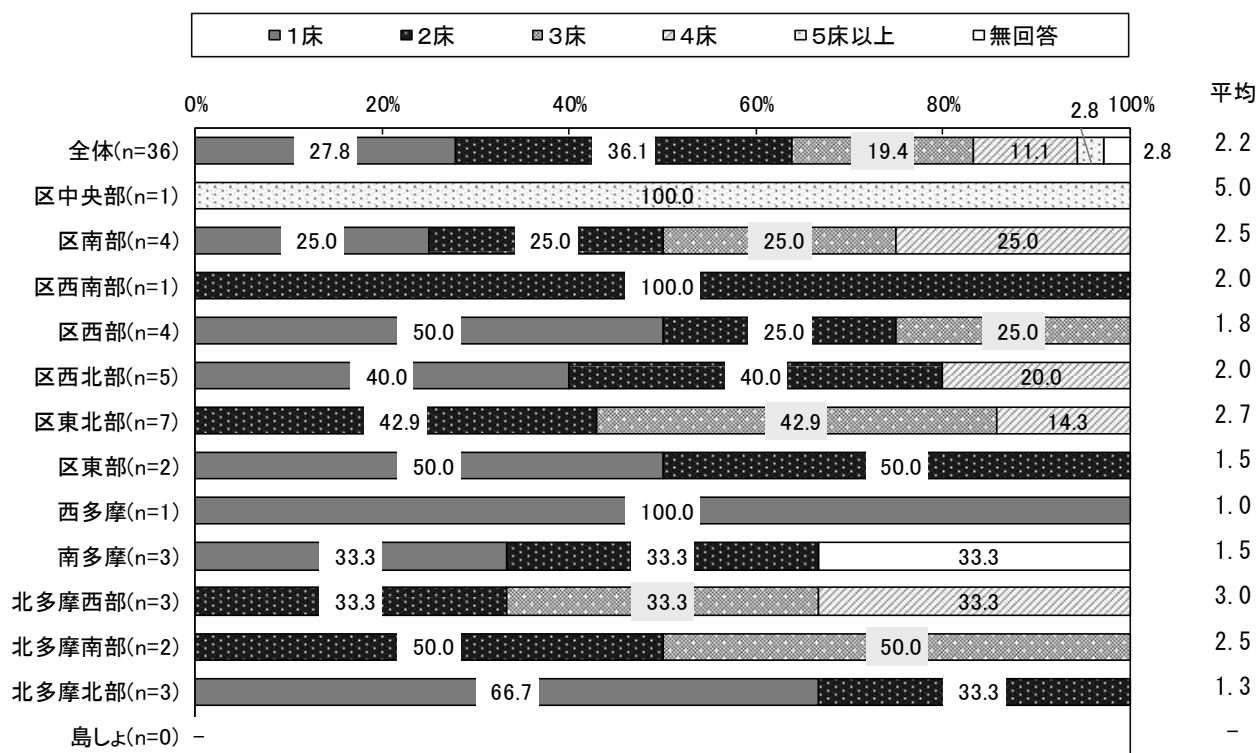
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設

図表 247 病状変化時等の対応（病院：Q32-①）在宅療養支援病院の届出別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 248 病状変化時等の対応－入院のための確保病床数（病院：Q32-①-1）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、患者の病状変化のために、入院のための病床を常に確保している 36 施設

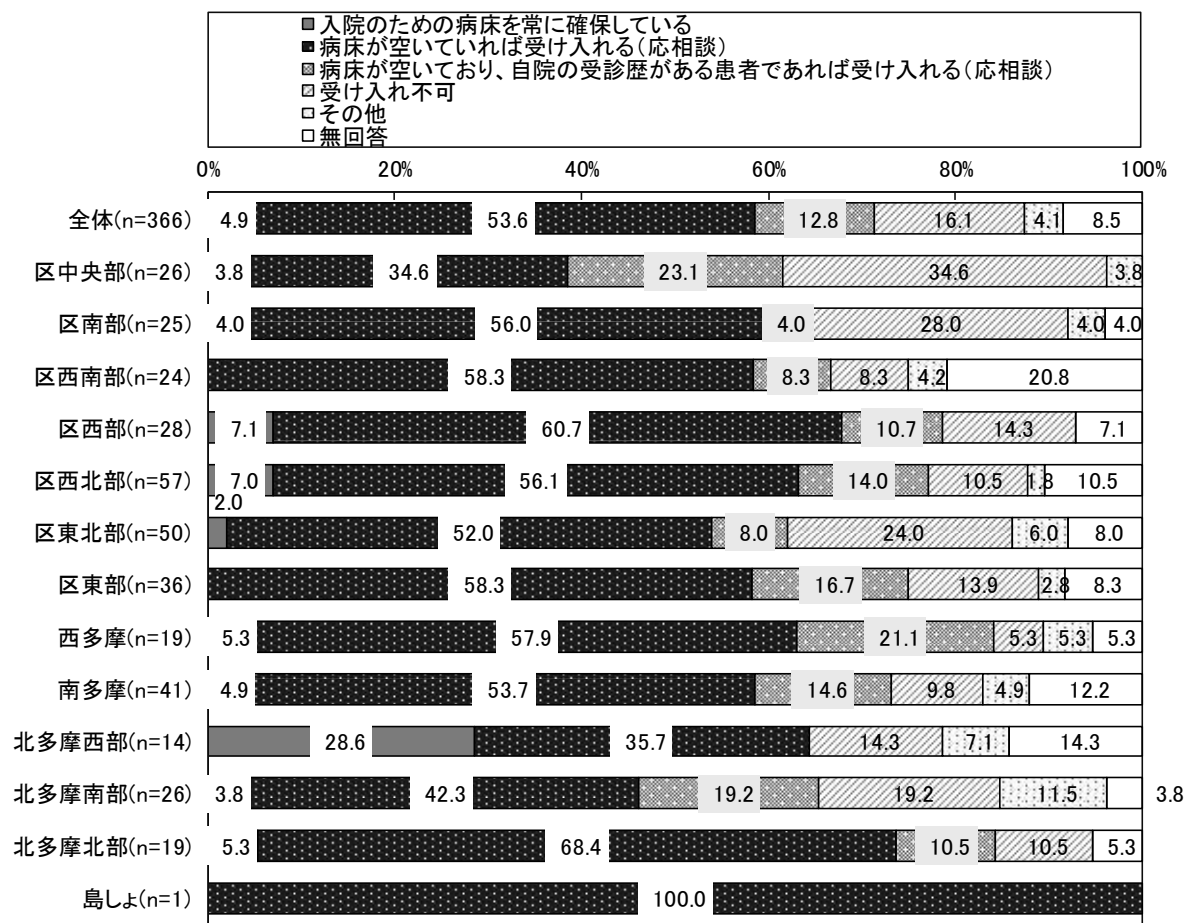
平均は、「無回答」を除いて算出

(2) レスパイト入院への対応

レスパイト入院のために「入院のための病床を常に確保している」病院は、4.9%であった。最も多いのは「病床が空いていれば受け入れる（応相談）」（53.6%）で、次いで、「受け入れ不可」（16.1%）、「病床が空いており、自院の受診歴がある患者であれば、受け入れる（応相談）」（12.8%）などが続いている。

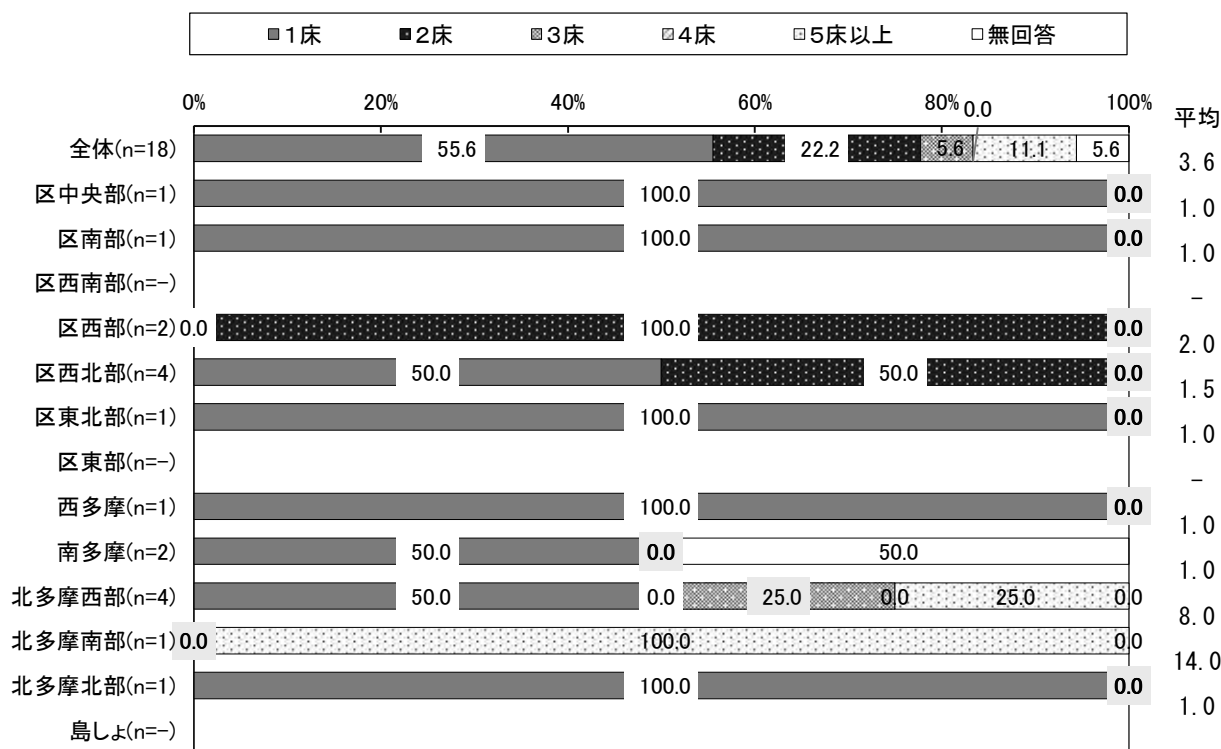
レスパイト入院のために常に確保している病床数は、「1床」が55.6%、「2床」が22.2%である。平均では、3.6床であった。

図表 249 レスパイト入院への対応（病院（Q32-②）二次医療圏別）



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設

図表 250 レスパイト入院への対応－入院のための確保病床数（病院：Q32-②-1）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、レスパイト入院のために、病床を常に確保している 18 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

調査票

